

研究紀要

第26巻 第1号

2005年1月

目次

〈論文〉	
対連合学習における手掛りの選択条件について (その8)	水元 景文 (1)
大学生の家族イメージ	片平 真理 (17)
自転車による上り坂移動時の行動に関する予備的研究	
学校生活スキルと学校適応感及びストレス反応との関連	木下 昌也・岩船 昌起・鈴木 雄清 (27)
学生用暴力欲求質問紙の作成	神菌 紀幸 (37)
進路決定自己効力感, 時間的指向性, 現在の充実感の大学間比較	泉洋 (49)
—本学学生と県内他大学学生との比較—	
情報リテラシの独学を支援するためのマニュアルに関する研究	田口 雅徳・森 実紀・松村 聡美 (61)
福祉心理臨床学の理論的基礎: ジェントル・ティーチングの	
教育プログラムの作成について	十島 真理・十島 雍蔵 (89)
アイザック・バンティングの生涯—エラブ・ユリを「発見」	
したヴィクトリア朝のコレチェスター出身の養樹園主—	酒瀬川純行 (127)
大学開放をめぐる課題と可能性	
—本学生涯学習センターの事例を中心に—	志賀 玲子 (151)
シラス台地上に位置する毛梨野集落の歴史地理学的考察	
—巨木の年代と樹種ごとの有用性を手掛かりとして—	岩船 昌起 (163)
生命の科学と倫理を学生に教示する視点	江崎 一郎・近藤 功行 (197)
〈研究ノート〉	
ILOのSTEPプログラムと学習論の課題	江阪 正己 (221)
〈論文〉	
昭和後期の鹿児島教育 (その3) —教育センターの役割—	
小沢芦庵著『和哥一枚起請文』について	二見 剛史 (239)
【土御門院女房】注釈 (二)	清水 勝 (257)
	山崎 桂子 (297)